

# MEET☆ミーティング事前アンケート結果 (回収: 18名)

## 1. 認知症についての普及・啓発が進んできていると感じますか？

はい: 9名      いいえ: 6名      回答なし: 3名

また、どんな場面でそう感じますか？

【「はい」のご意見】

- ・市ウェブページやLINEの発信
- ・「みまもりあいアプリ」
- ・高齢者の会話の中で、普通に「認知症」というワードが出てくる時
- ・公民館サークルの「ヨガ」や文化サークルで、辞めることなく続く限り続けていくと語りあっています
- ・軽症での受診、MCI（軽度認知障害）での受診が増えた
- ・認知症の外来診療が増えた
- ・職場内では、認知症に対する研修などで認知症の方への接し方など知識があるため理解が深まっている。しかし、家族の方が本当にお困りの様子をお伺いすると色々大変だと痛感します。
- ・支援制度やサービスが増えている
- ・地域の方は色々協力して下さってありがたい

【「いいえ」のご意見】

- ・大きく変わりにないと思う。認知症の過去のイメージが未だある
- ・みまもりあいアプリも登録しているが、知らない人も多い
- ・認知症になりかけの方の家族の対応もどうしてよいかわからない
- ・富田林市全体からはあまり感じない

【その他のご意見】

- ・現在のところどちらとも答え難い

## 2. 認知症に関係することで、困りごとや課題だと感じることをご記入ください。

- ・入居管理において、話がかみ合わず、物事が進まないケース有。
- ・若年性認知症の方への支援で、ニーズに応える制度・仕組み・資源が不足している
- ・認知症疑いの方でも、拒否の強い所に介入する手段が乏しく、家族任せになっている
- ・認知症になったら大変、厄介と思う人（介護家族を含めて）が少ない
- ・女性の友達から「夫がだんだん認知症になってきた」と。
- ・一人で出歩くなど、家で過ごしている方は大変と、奥様から。
- ・「預けた」から少しラクになったと。

- ・ 家族がある程度認知症だとわかっているが、なかなか支援する機関に相談をしない。
- ・ 受信拒否、サービス利用拒否、家族の介護控え、夫婦や親子の確執
- ・ 家族の方のサポート
- ・ 一般の人に認知症の予防啓発を、対応を小児から始めることが肝要
- ・ 当事者にならないとわからないことが多く、ご家庭で抱え込んでいるケースが多いと感じる。
- ・ 毎日困りごとばかり。家族は逃げるができないと感じることが多い。お互いが協力して在宅介護ができるようにもっとうまくサービスを利用していきたい。
- ・ 認知症者が家にいるとなかなか外に出ることはむずかしい

### 3. 認知症に関係することで、取組みのご提案や希望する制度（あったらいいなと思うサービス）などをご記入ください。

- ・ 若年性認知症の方の就労や居場所になる所の創出
- ・ 当事者や家族が気軽に参加できる場所
- ・ 色々な人が集まって自分も参加できる「場」が必要と思います。夫の笑顔など見ることができる。預けてはわかりません。コーヒーを出してもらって楽しい雰囲気など、いいと思います。
- ・ 本人、家族の支援がまだ見えにくい？身近な地域で支える場所（交流の場）があれば…
- ・ 小学校から人権教育の中に認知症について学ぶ（認知症サポーター養成講座等）時間があれば…
- ・ 通院に同行してくれるサービス
- ・ 精神疾患の往診
- ・ 介護保険のポイントを気にすることなくサービスを利用できれば有難い。
- ・ 介護している家庭へ、お知らせなどの手紙が届くなどのサービス（他の家族がどんなことで悩んでいるか、それに対する回答やサポート状況など）
- ・ 同じことで悩んでいるのが自分だけではないという家族サポート
- ・ 自治会組織での取組み
- ・ 現在、認知症に関係するどういう取組みがなされているかわからないので答えられない。
- ・ GPSなど無料で貸し出ししてほしい
- ・ 日曜日など無料で（認知症の本人を）預かってくれる所があればいいなと思う
- ・ 若年性認知症の方や家族との交流が富田林市でも近隣の別地域から来ていただいていたほしい
- ・ 家で介護していて、家族がこんなことを勧めているなどの話